

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2093200034		
法人名	社会福祉法人ハイネスライフ		
事業所名	認知症対応型共同生活介護施設グループホーム朝日		
所在地	長野県上高井郡高山村大字牧103番地1		
自己評価作成日	平成 24年 9月 24日	評価結果市町村受理日	平成 24年 12月 4日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング株式会社
所在地	長野市松岡1丁目35番5号
訪問調査日	平成 24年 10月 18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

新規取り組みとして、フルート奏者や折り紙でのカレンダー作成、ススキ作品などのボランティアに来訪いただき、ご利用者の新たな一面を発見する事ができている。また、来訪者を待っているだけでなく、こちらから出向き、近所のなじみの方とお茶を飲みながらゆっくり過ごす事により、改めて、ご利用者の今までの生活ぶりを知り、今後の支援に結びつけている。看取り介護を行っており、ご家族、医療、職員間で連携し、ご本人やご家族の意思や希望に沿える支援を職員間で統一している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

紅葉に彩られた高山村牧地区の「チャオの森」に隣接して社会福祉法人の運営する複合施設があり、その一角にホームがある。玄関には手入れの行き届いた花が咲き誇り癒しの空間となっている。「住み慣れた環境のもと地域に開かれたホームを目指す」という新しい目標を掲げ、近くの小学校の児童との交流や中学生の職場体験学習を受け入れ、フルートやアコーディオン演奏、舞踊のボランティアが訪れるなど地域にホームの存在が浸透してきている。「今、目の前にいる利用者が何をしたいのかを考え行動する」という職員の基本姿勢が貫かれ、利用者本位の支援を実践している。利用者と職員は家族のようで双方の穏やかな笑顔も随所に見ることができ、ホームに入るとホッとする。職員は研修会や勉強会で技術・知識を深め、また、法人の各種委員会に必ず所属し、会議で検討された結果を全職員で共有しつつケアの向上に活かしている。開設4年目を迎えた今年、初めての看取りを行った。家族、医師、職員が連携し、本人も我が家と思え旅立たれ、家族からも感謝されている。年2回、家族会が行われ利用者の様子を伝えたり家族同士の意見交換を行うなど家族との意思疎通も十分に図られ、ホームに対する信頼度も高い。今何が課題なのかを職員全員で考え、それを解決し、より質の高い支援をしていこうという前向きなホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		